

なかま

プリンストン日本語学校新聞



平成25年度 No.24号

平成25年11月3日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

刈残して 畔の大豆の 地平線
有明の 群青に黄金 秋の陽の

今日の予定

新小1 募集説明会 (13:00~14:30)

夏時間は2時に終了しました。ご注意ください。

今後の行事予定

11月10日 17日 表現学習発表会 (中学以上)

12月8日 学芸会 (幼)、学習発表会 (小学生)

1月5日 12日 書き初め

6年生「平和について考える」スピーチ原稿から(2)

「忘れないひとこと」 佐藤麗奈

皆さん、戦争になり国のみんながきょうふを感じながら生活するのはおかしいことだと思いますか。それよりも、他の人と助けあい「平和」が一番だと常に忘れないことが大切だと思いますか。私はテロリズムなどが起こらないようにするのが「平和」への第一歩になると考えます。2001年9月11日に3機の旅客機がニューヨークのツインタワーとワシントンDCのペンタゴンに向かってつい落した事件でした。これは、アルカイダのテロリストが計画した事件でした。飛行機をハイジャックし自分も死ぬとわかって建物につき当たったのです。罪のない、そこで一生けん命働いているたくさんの人もぎせいになりました。私は平和を忘れなかったら起こらなかったと思いました。この後から全世界の人々は「平和」についてもっと考えるようになったと思います。

あれ以来アメリカは二つとない「平和」について意識しました。ある人は「テロはやめられない」というかもしれません。しかし、世界中に平和への意識を高め、それを伝えたらテロリストもテロもなくなると思います。いやなことがあっても平和的な解決をするようになるのです。戦争やテロで問題を解決することが起こらなくなるでしょう。私の現地校の先生は「9月11日にどんなことがあっても、人助けをしたらその人はヒーローだ」と言いました。そして、「この日はアメリカでの重要な日になりました。なぜなら国のみんなを愛国者にしたからです」と言いました。これを聞いた時、私は世の中が平和でみんなが安全でいられるのが一番だと思いました。そして、困っている人々がいたら助け、平和的に問題を解決していくように働いていきましょう。「平和」をいつまでもいつまでも忘れないように心の中に刻んでおきましょう。

日本史シリーズ(3)「邪馬台国はどこにあったのか？」

邪馬台国論争は今も続いています。やまとという地名は全国に多くあります。『魏志(倭人伝)』の記録通りに邪馬台国への道程をとって進んでいくと太平洋に出てしまいます。そこで、その記述についてさまざまな解釈が加えられ、その結果として邪馬台国の九州説、畿内説などが主張されてきました。中国の歴史書以外に当時のことを記した明確な記録が残っていないので、邪馬台国のあった位置を特定するには、今後の考古学的な決定的証拠が出てくるのを待つしかなさそうです。

天皇制の起源にも結びつく邪馬台国探しは、国民的関心の的ですが、これまでに多くの歴史家や小説家などが持論を展開してきましたが、概ね自分の出身県びいきを免れない感がしました。それほどに不確定な要素が多く明確な証拠を見いだせないということです。仮に九州だとすると、その後畿内勢力に滅ぼされたか、逆に東に攻めていって畿内を支配下におさめたか、のいずれかになります。また畿内だとすればそのまま大和政権に結びつくことになります。教科書(東京書籍)では「・・・近畿にあったとすれば、邪馬台国はのちの大和政権につながる勢力と考えることができます」と記述し、畿内説に近い表現になっているようです。2013年の2月に行われた箸墓(はしばか)古墳(奈良市)の調査では発見された土器片の作製年代がAD250年前後ということが分かり、卑弥呼の墓である有力な手掛かりになると注目を集めました。

ところがそう簡単には解決しないのが邪馬台国論争なのです。九州説にも畿内説にも強みと弱みがあります。例えば邪馬台国に至る途中に末盧や伊都、奴(漢から金印をもらっている)、不彌、投馬などの國があるとされているが、現在も九州には比定できる地名があるとか、中国地方や近畿地方の方が九州よりも圧倒的に古墳が多いとか、です。

邪馬台国を舞台にした手塚治虫の漫画『火の鳥(黎明編)』では、卑弥呼の没後に大陸から渡ってきた騎馬民族によって滅ぼされたことになっています。この作品は日本が騎馬民族が作った国家であるという考えに立って描かれています。古事記や日本書紀に記された神武東遷の話も興味深いものがあります。天皇家が畿内ではじまるのか、九州から来たのか、はたまた半島から来たのか、はっきりとは分かりませんが、それから間もなく畿内に大きな統一政権が誕生したことは間違いのないことなのです。